せやふれあいの庭

2018/7/20 川内村 3 区老人会(常磐会)訪問報告書～お祈り･ご支援心から感謝します！！

19 日の夜に那須に到着して 1 泊しました。那須でも経験のない今年の猛暑は夜になっても気温が下がりません。避暑地であるので夜は長袖を来ていた那須、本当に自然界の秩序が狂いめちゃくちゃになってきていると近藤葉子さんが深刻に話されました。翌朝蒸し暑い中、川内村へ向かいました。小野のガソリンスタンドに寄ると川内村から須賀川へ廃材を運んでいるという方にお会いしました。荷台には農作業の重機が積んであります。「川内村でまた会うかもな！」と陽気なおじさんと記念撮影です。川内村へ入ると狭い道をトラックがすれ違います。あちらこちらで工事車両が見られ道路が整備されつつあります。その道を走りながら 9 時 40 分に 3 区の山村活性化支援センターへ到着しました。

3 区では富安先生をスカウトした秋元女性部長が出迎えて下さいました。12 人の女性と 1 人の男性自治会長が来て下さり計 13 人 50 畳弱の部屋で音楽療法が始まりました。地域の顔見知りメンバーですから皆和気あいあい笑いに包まれた仮設の時代のような雰囲気の中楽しく音楽療法が終わりました。「こんなに大きな声で笑ったのは何年振りかだ」と言ってくださった方、民謡「会津磐梯山」に合わせての団扇体操を教えてほしいと言われる方、その後にもたれたお茶会で会話がはずみます。お茶に自家製のキュウリの漬物は暑い夏には理にかなった食べ物であると実感‼　この活性化支援心センターは震災の時にここでこの地域の方が寝泊まりしたりしたそうです。皆で休む間もなく炊き出しをしたり、大変だったと当時を振り返って話してくださいました。センターの外には放射能の線量計があります。また川内村には電波時計の電波を発信する送信所（日本には 2 か所でそのうちの 1 つ）があるそうで、この話は私達も初めて聞くことなので、説明やら場所の話やら一生懸命して下さり、大いに会話がもりあがりました。小さな会話の積み重ねが人間関係を作り上げていきます。

仮設から川内村へ～そして、これから...

より多くの川内村の方々との関係性を築くため、私たちは社協へ赴き担当者の方に相談しました。村には村のルールがあります。私達が村人達との信頼関係を築きあげる為には多くの人々が私達を知らなくてはなりません。
社協の方は、各区（計 8 区）の老人会活動に音楽療法を取り入れるよう提案して下さるそうです。
とても有意義な話し合いの時間でした。
帰り道、なじみの Y さんのお宅に立ち寄りました。
Y さんと一緒にいた近所の方も加わって、たのしいおしゃべりのひと時を持ちました。
寄って顔を出すという積み重ねを大切にしていきたいと考えています。